

❖ 依頼文

(公財) 山口きらめき財団 調査研究委嘱事業
「仕事と子育ての両立」に向けて地域の子育て支援への要望に関するアンケート調査
～ご協力をお願いします～

皆様には、平素より仕事と家庭生活の両立に向けてご熱心にお取り組みのことと存じます。

この度、(公財) 山口きらめき財団の調査研究の委嘱を受け、仕事と子育ての両立に向けて日々頑張っておられる保護者の皆様にアンケート調査のお願いをさせていただいております。

皆様から、地域の元気なシニアの子育て支援に対する要望をお聴きし、「仕事と子育ての両立」に向けて、地域で応援できることを探り、社会貢献活動として世代間交流による地域ならではの子育て支援のあり方を見出したいと思っています。

このアンケート調査では、当会の会員によるネットワークで選ばせていただきました。

ご回答いただきました内容は、山口大学経済学部 鍋山祥子教授のご指導のもと、統計的な集計・分析だけに用いられ、個人の内容がそのまま発表されることはありません。

お忙しい中、大変恐縮ですが、調査の目的をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

平成27年8月

やまぐちネットワークエコー
代表 西山 香代子

「やまぐちネットワークエコー」は、女性の社会参加を目的に、山口県教育委員会と現在の山口県立大学が連携して開催した「やまぐち女性カレッジ」「やまぐち県民カレッジ」の修了生で立ち上げた団体（平成5年設立）です。男女共同参画社会の推進に向けて、学習・交流・実践に努め、県域で会員が活躍しています。

《ご記入に際してのお願い》

- ①保護者の皆様にご回答くださいますよう、お願いいたします。
 - ②お答えは設問ごとに（○は1つ）、（あてはまるもすべてに○）など、それぞれ指定されていますのでご注意ください。○印は、番号を囲むようにお付けください。
 - ③ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて、
平成27年9月18日（金）までにご投函下さい。
「やまぐちネットワークエコー」代表宛て。回答者個人の情報内容が判明するものではありません。
- アンケート調査について、ご不明な点やご質問がございましたら、お問い合わせください。



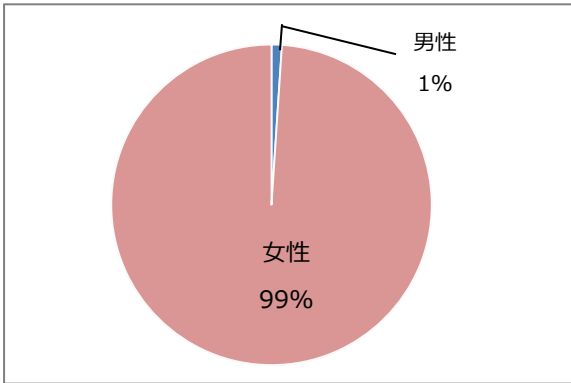
❖ 集計結果

- ◆アンケート名 仕事と子育ての両立に向けて地域の子育て支援への要望に関するアンケート調査
- ◆調査期間 平成27年8月～9月
- ◆調査対象 仕事と子育てを両立し、子育て支援施設へ子どもを預けている親
- ◆回収状況 配布数 311 中回収 192
- ◆回収率 62%

	調査票持参	回収枚数	回収率
保育所	131	82	63%
ファミリーサポートセンター ※以下「ファミサポ」と略す	90	53	59%
放課後児童クラブ・学童保育	90	57	63%
合計	311	192	62%

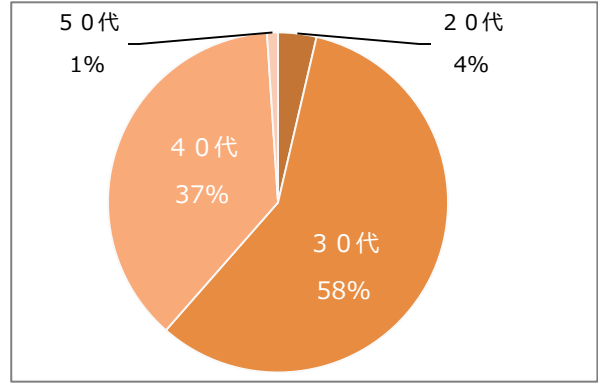
複数回答のグラフは、分母、回収枚数÷分子、回答実数で作成

◆問1 あなたの性別はどちらですか。



女性がほとんどで、男性は2人

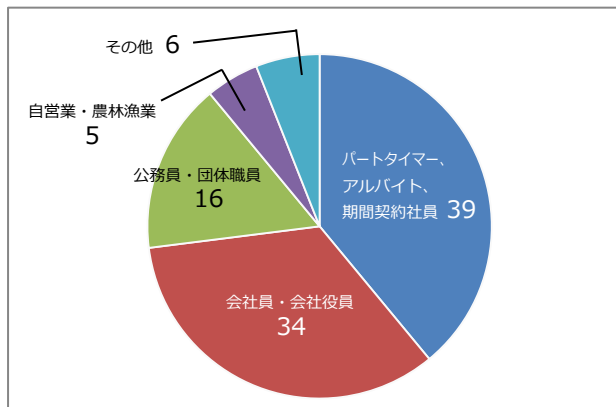
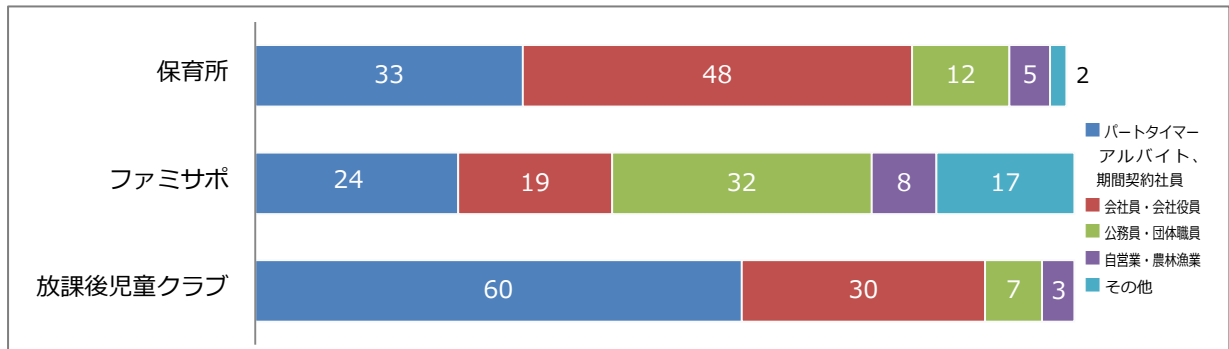
◆問2 あなたは、現在おいくつですか。



30代と40代で9割を超え、20代は僅少

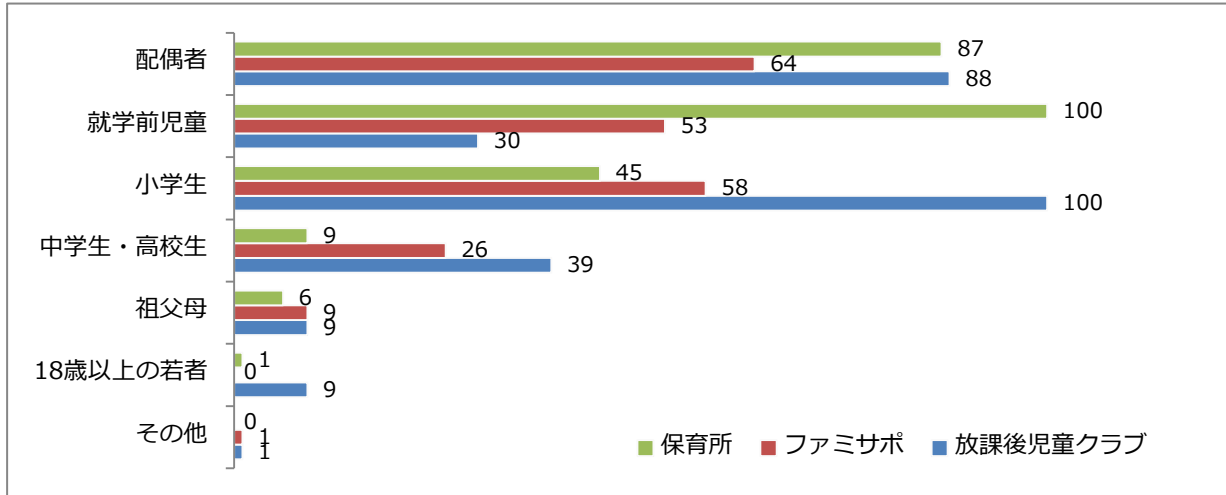
◆問3 あなたの職業はどれにあたりますか。

(単位: %)

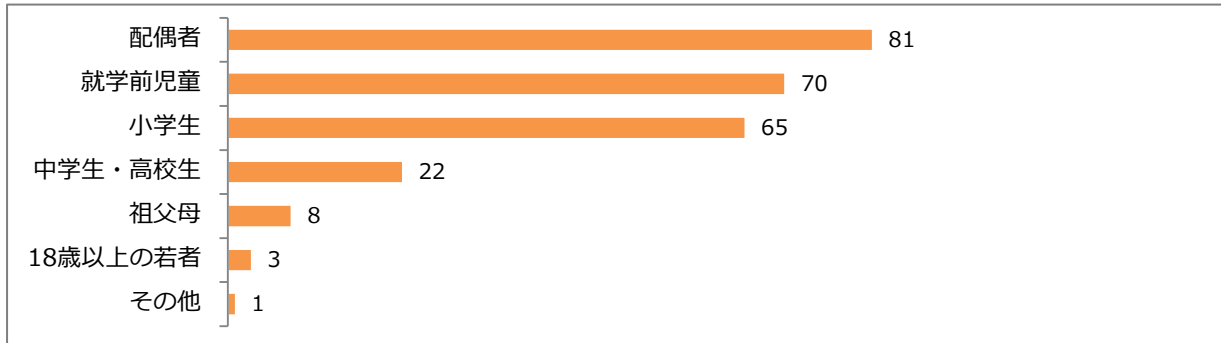


保育所では「会社員・会社役員」が5割弱、次いで「パートタイマー、アルバイト、期間契約社員」が3割
ファミサポでは「公務員・団体職員」が3割、次いで「パートタイマー、アルバイト、契約社員」、「会社員、会社役員」
放課後児童クラブでは、「パートタイマー、アルバイト、期間契約社員」が6割、「会社員・会社役員」が3割。
全体では、「パートタイマー、アルバイト、期間契約社員」が4割、次いで「会社員・会社役員」、「公務員・団体職員」

◆問4 あなたの同居家族（自分は除く）についてお尋ねします。 ※該当全て（単位：％）

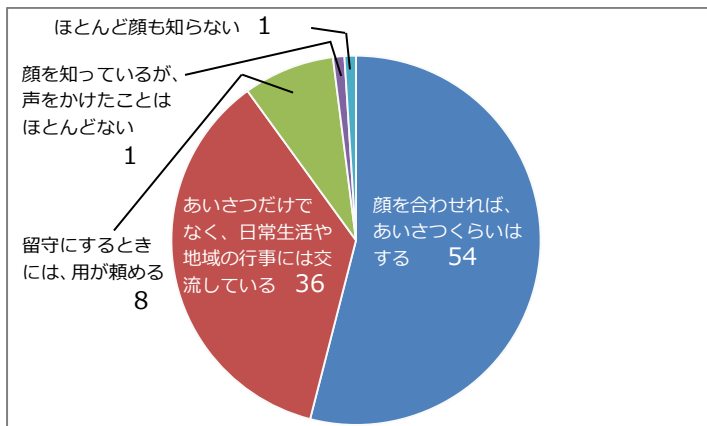
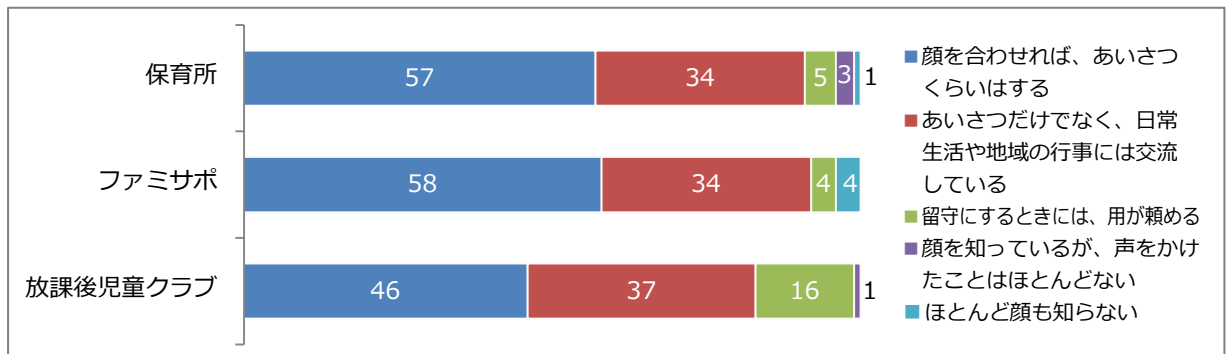


祖父母との同居がファミサポ、放課後児童クラブでは1割弱。



全体では祖父母との同居が1割弱。就学前児童、小学生が7割弱～7割。

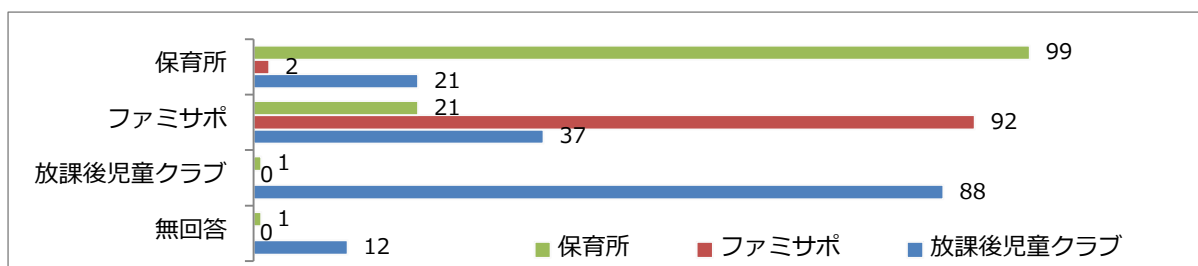
◆問5 あなたはご近所の人と、どの程度お付き合いをされていますか。（単位：％）



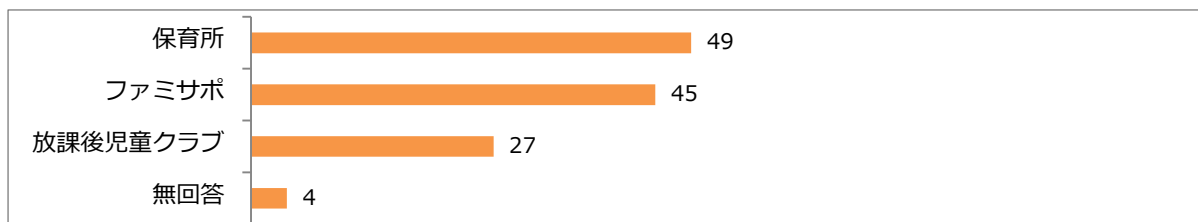
保育所、ファミサポでは、挨拶くらいするが6割弱、地域との交流3割。放課後児童クラブでは留守に用が頼めるが1割強。声をかけたことがない、顔も知らないは僅少。

全体では、挨拶する5割、地域交流は3割。留守にするとき用が頼めるが1割弱。

◆問6 あなたのお子さんはどの施設に預けておられますか。また、利用されていますか。 ※該当全て (単位：%)

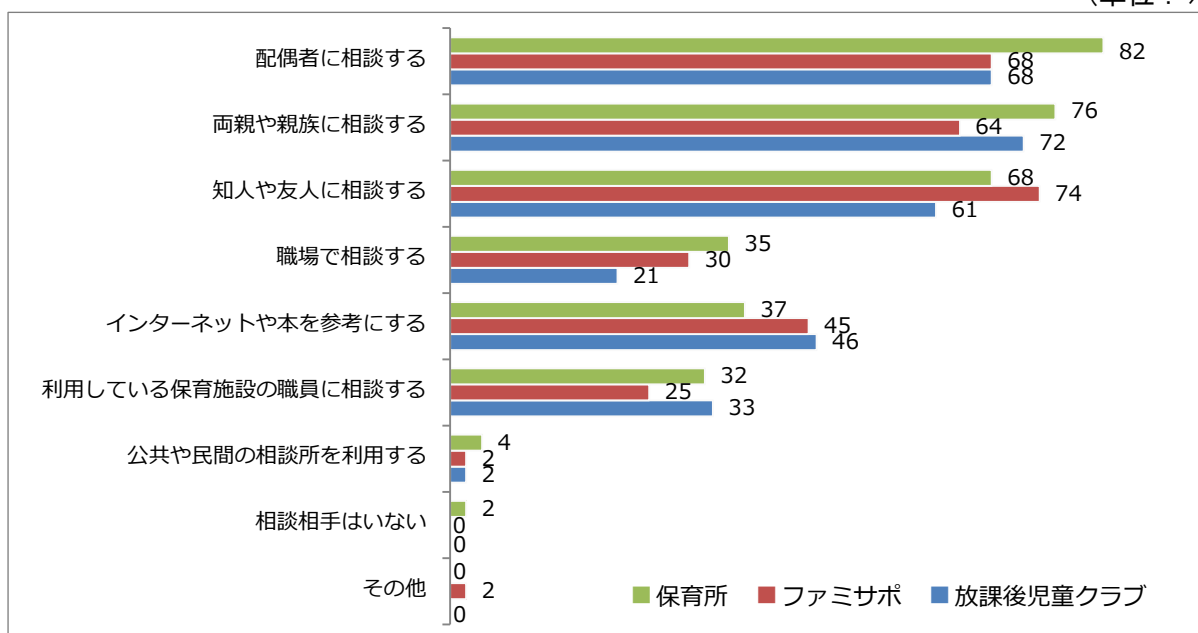


保育所利用ではファミサポが2割、ファミサポ利用では保育所が2割、放課後児童クラブが4割弱。

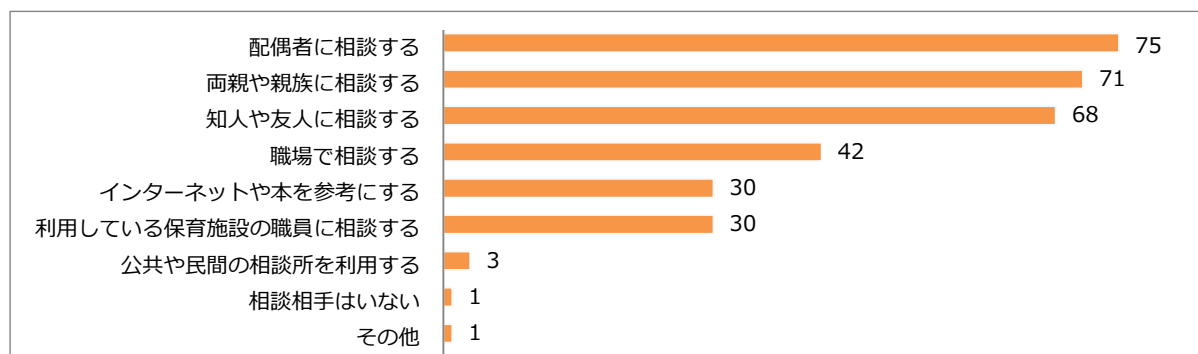


全体では、保育所、ファミサポ利用が5割弱。次いで放課後児童クラブ3割弱。

◆問7 あなたが子育てをしていく上で、悩みや不安はどうやって解決していますか。 ※該当全て (単位：%)

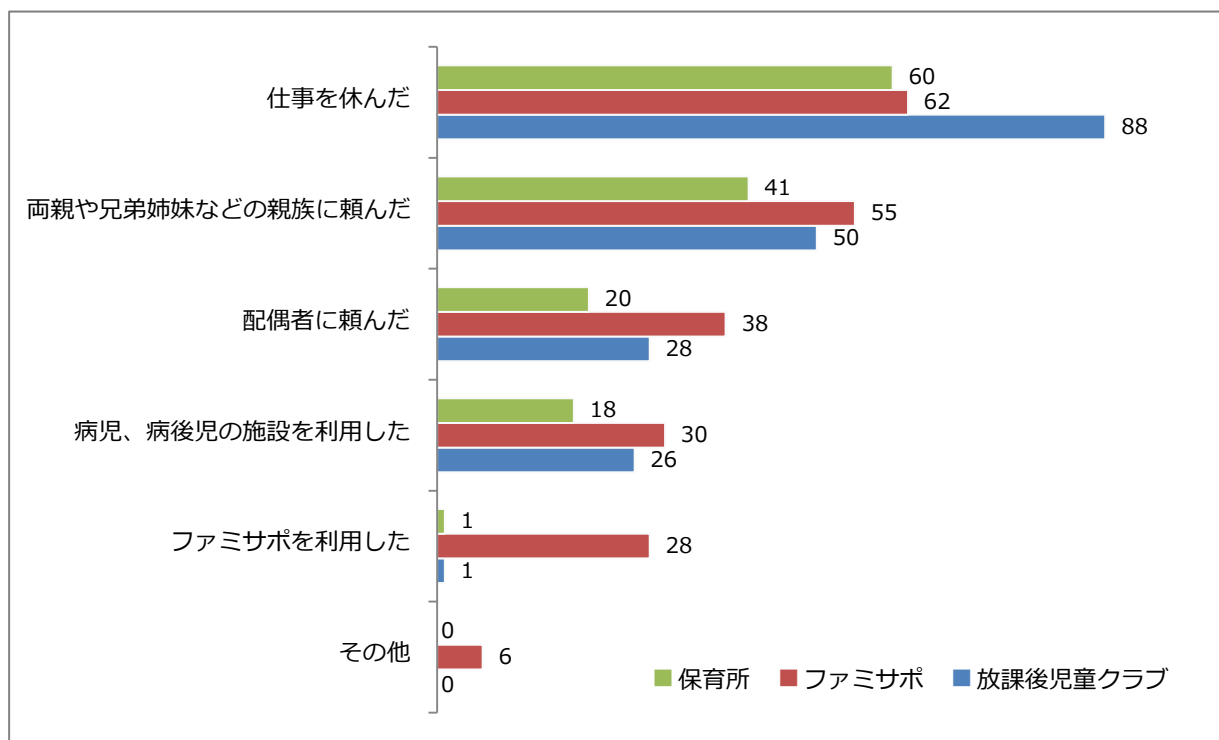


配偶者に相談が保育所では8割、ファミサポ、放課後児童クラブで7割弱。両親や親族に相談が保育所、放課後児童クラブで7割、ファミサポで6割。職場で相談が保育所、ファミサポで3割、放課後児童クラブで2割。インターネット、本参考がいずれも4割程度。施設職員に相談が保育所、ファミサポで3割、放課後児童クラブで2割。

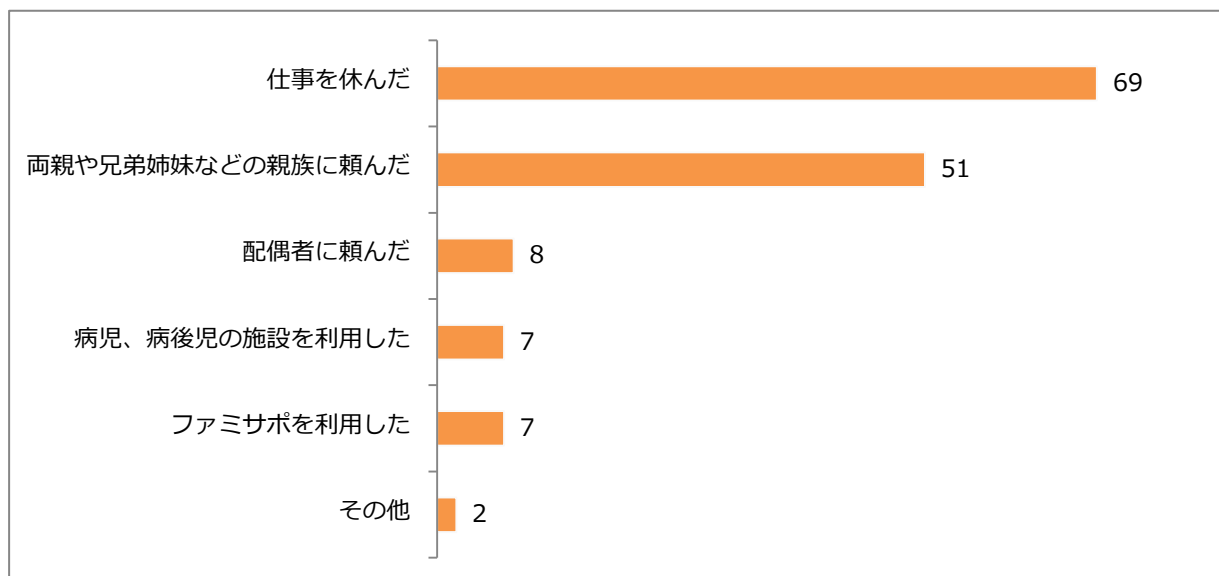


全体では配偶者に相談、両親や親族に相談、友人や知人に相談が、7割～7割弱。インターネット、職場が3割。

◆問8 あなたのお子さんが病気やけがで休む時、どのように対応されましたか。 ※該当全て (単位：%)

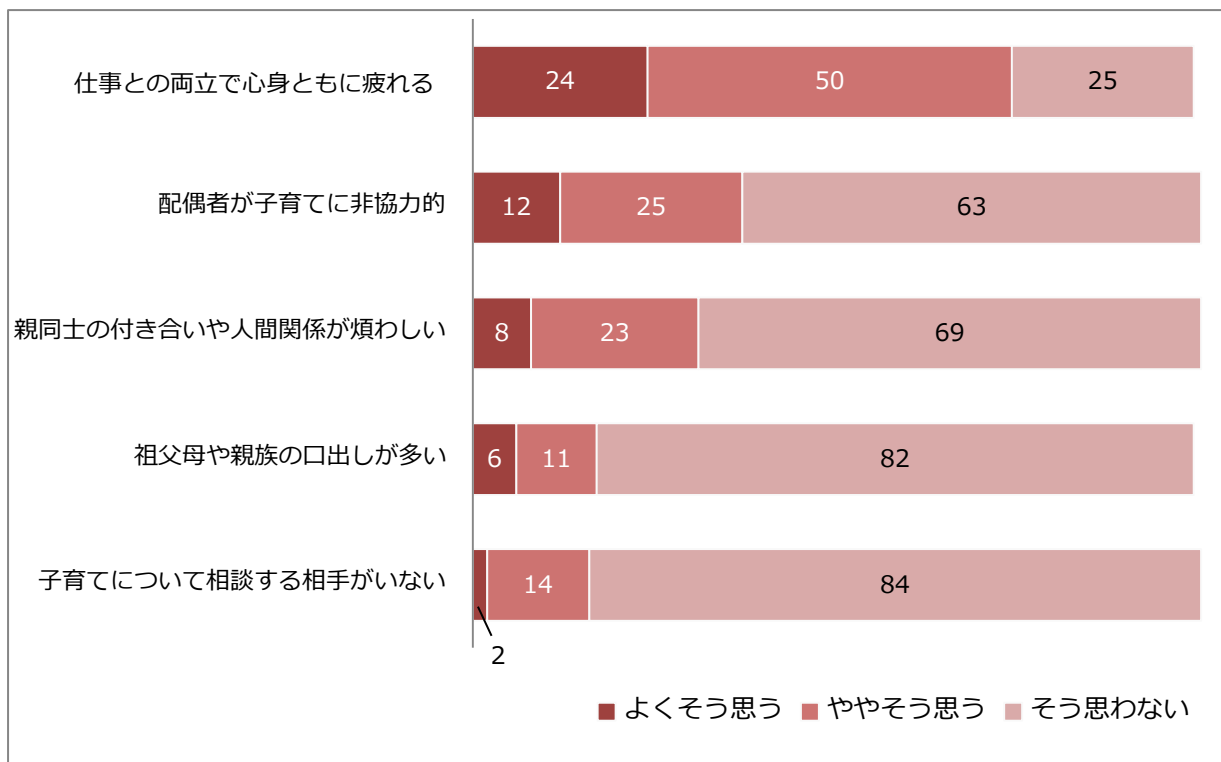


仕事を休んだが保育所・ファミサポで6割、放課後児童クラブでは9割弱。次いで両親に頼んだとなっている。配偶者に頼んだは、保育所で2割、ファミサポで4割弱、放課後児童クラブで3割弱。病児施設を利用した2割～3割。



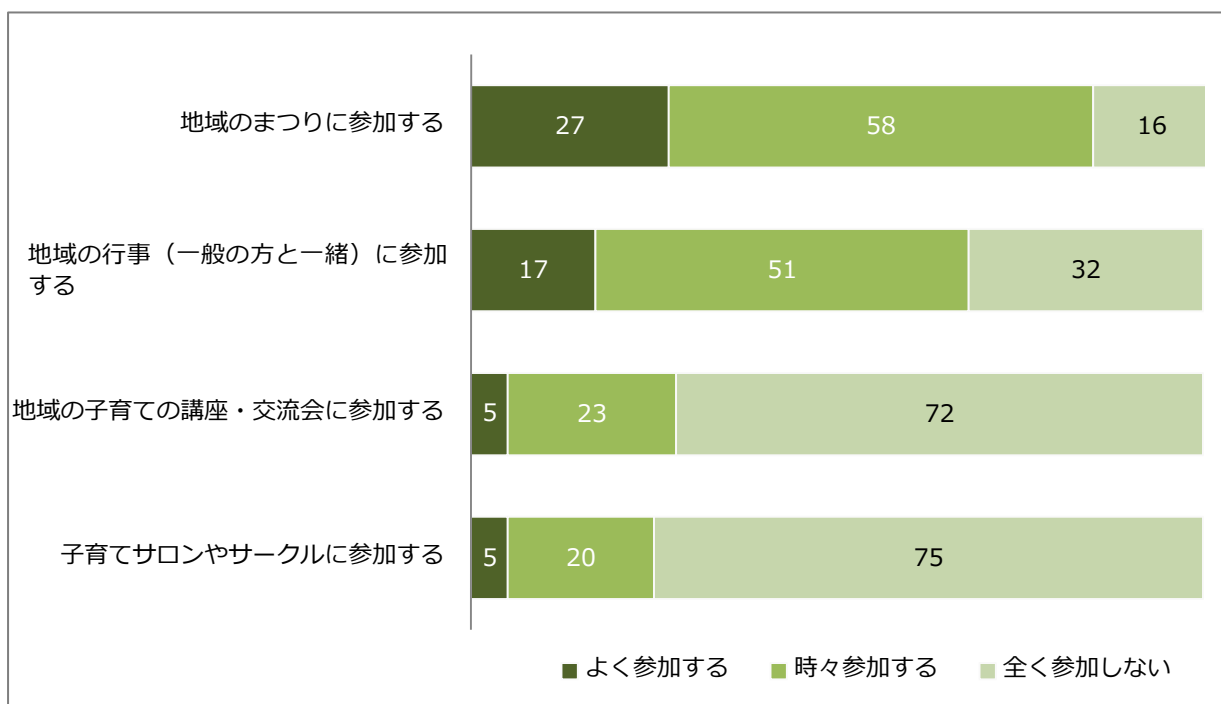
全体では、仕事を休んだが7割弱、両親等親族に頼んだが5割、配偶者、施設利用は1割弱。

◆問9 あなたの子育ての負担感について、どのように思われますか。(単位：%)



仕事との両立で心身共に疲れるが、7割を占めている。配偶者が非協力的が4割弱、人間関係が煩わしいが3割。祖父母や親族の口出しが多いが2割弱。

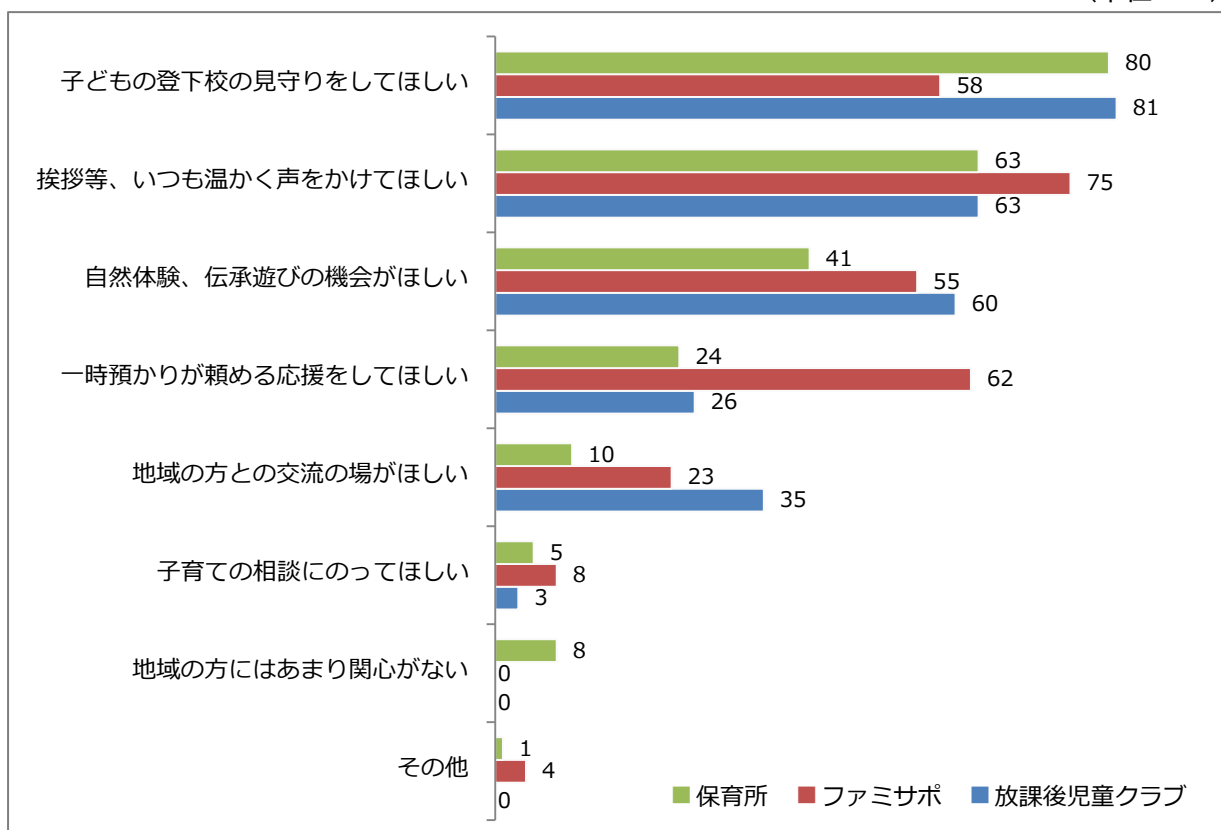
◆問10 あなたは地域の行事に親子で参加しておられますか。(単位：%)



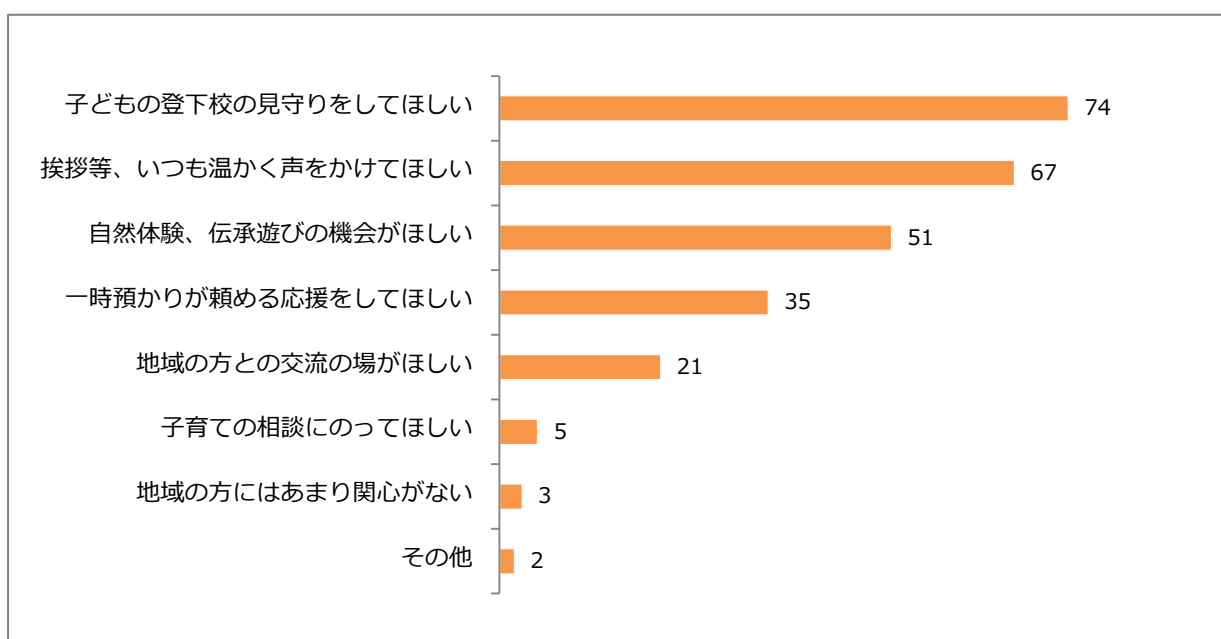
地域のまつりに参加するが8割、次いで地域の行事に子どもと一緒に参加するが7割弱。地域の講座やサロンなどの参加は、2割。

◆問 11 地域のシニア世代が子育てに関わり応援するとしたらどのような活動、サービスを希望しますか。あなたのお気持ちをお聞かせください。 ※該当全て

(単位：%)

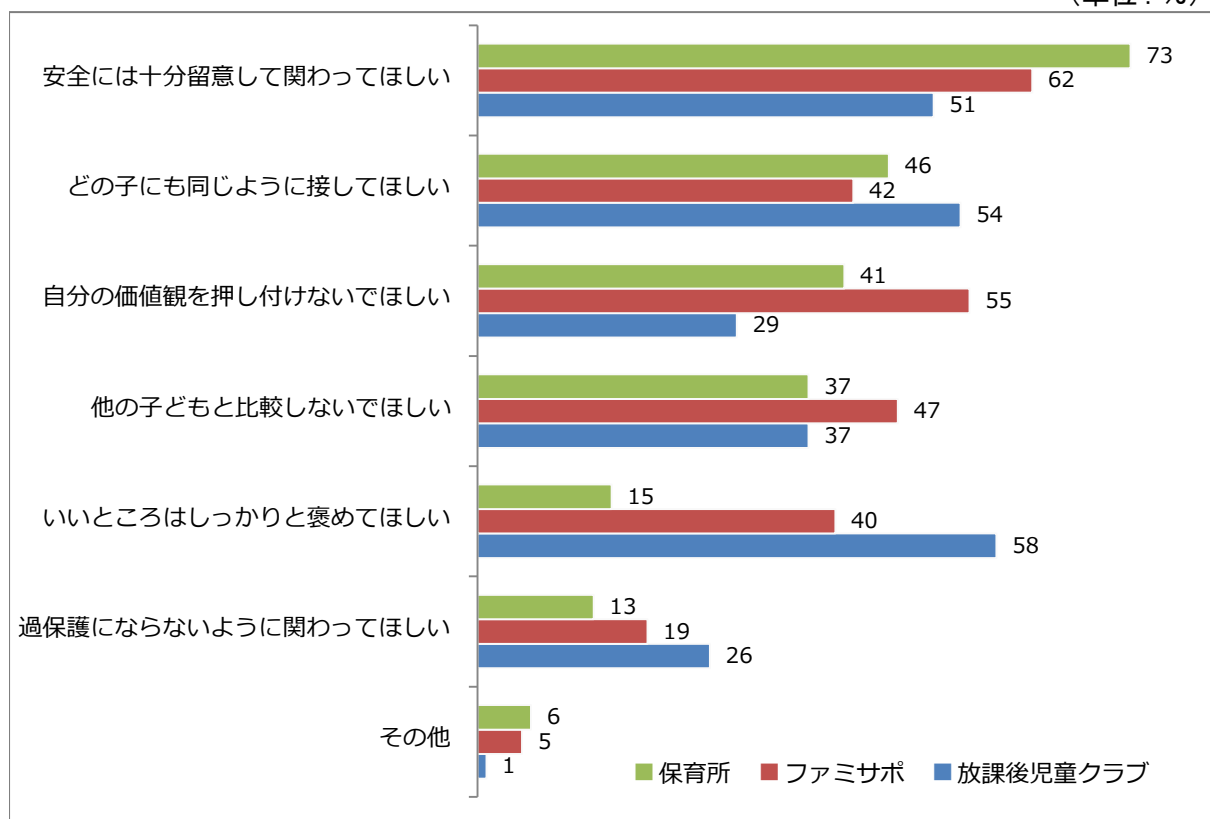


子どもの登下校の見守りが、保育所、放課後児童クラブでは8割、ファミサポで6割弱。次いで、何時も温かく声を掛けてが6割～7割、次いで自然体験。一時預かりがファミサポで6割。いずれも相談にのって欲しいは僅少。



全体では、登下校の見守りが7割、次いで温かい声掛け、自然体験、一時預かりとなっている。

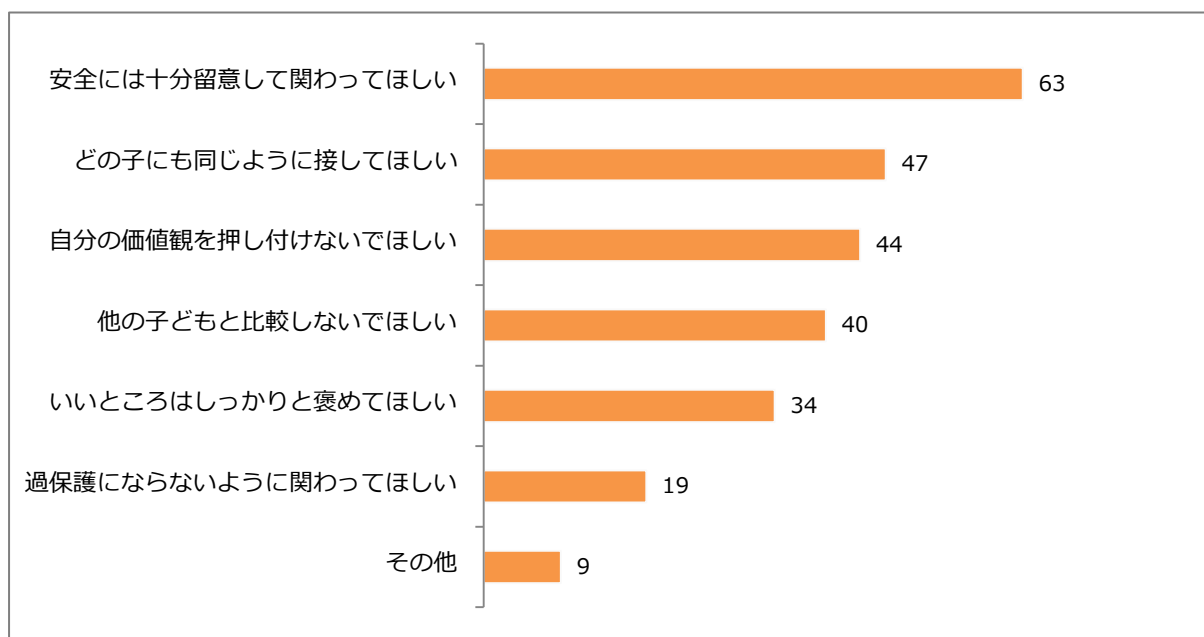
◆問 12 その時、地域のシニア世代に配慮してほしいことはありますか。 ※該当全て
(単位：%)



安全に充分留意してが保育所で7割、ファミサポで6割、放課後児童クラブで5割。

次いで、どの子にも同じように接して、価値観を押し付けないで、他の子と比較しないでとなっている。

いいところはしっかり褒めてがファミサポで4割、放課後児童クラブで6割弱。過保護にならないようには1～2割ある。



全体では安全に充分留意してが6割、次いでどの子にも同じように接して、価値観を押し付けないで、他の子と比較しないで、いいところは褒めてとなっている。

❖ 自由記載

◆問 13 例えばシニア世代がお子さんの一時預かりをするとして、どのような体制であれば利用したいですか。

保育所（45）

- 突然の体調不良（子ども、私自身）時、急に頼んでもみてもらえる体制があればありがたい
- 危険防止や子どもとの関わり方など、ある程度の保育知識がある方をお願いしたい
- 仕事が遅くなった時のお迎え、急な病気の時に預かってほしい
- 急な時（例えば病気で前日の夕方）をお願いできることが可能であると助かる
- 日曜日または夜に子どもを見てくれる施設
- 一時預かりが必要となる前に、顔見知りになり、子どもがなついている方に預かってもらえるので利用したい
- 今は保育園に通っており、実家も割と近くにあるのでよいのだが、小学校に入ったら心配
- 19時までみてもらえる放課後児童クラブのような家庭的な施設があるとありがたい
- シニア世代の方々が、複数おられる体制で、子どもが何時どこで何をし、どのような様子だったかを全て書面や口頭で知らせてくれる体制であれば利用したい
- 一時預かりといっても、子どもの学習面も気になるので、英会話であったり、公文式であったり、地域の子どもと一緒に学べ、それについての対価（リーズナブルであり、怪我の時の保障であったり、また一時預かりされる方の保障も）あればいいと思う。「仕事と子育ての両立」に向けてだが、残業の時など保育園の迎えが大変な方もおられ、近くの公文の先生へお迎えをお願いしている方もいるように聞くし、仕事も正社員ではなく、早く終わるパートを選んで働いている方も多くおられる。入園時早めに体制が整っていればいいと思う。〔例〕母子手帳などに保育園、小学校でサポート制度があり、困った時の連絡先が記載してあるなど。（「保育園で自分または他の人もお迎えに行けない時地域の方がサポートしてくれる制度もある」旨の記載）そうすると地域の方の正社員保健加入率、厚生年金加入率も（微々たるものですが）増えると思う。若い人が増えて子育てしやすい社会へ、また皆様の事業が全国に先駆けて、モデルケースになるよう祈っている
- 安全が確保されることが第一
- 子どもが安全・安心して過ごせる体制
- 必要な人員が確保され、全員に目が行き届く体制
- 一時預かり時にトラブルがあった場合に、適切な介入をしてくれる援助者がいると良い
- 携帯などで連絡が密に取れる体制。預かってくれる方がどのような方か詳細が分かる体制
- シニア世代の方を指導、管理する責任者が設置されたオープンな場所での一時預かりであれば…
- 安心して頼めるような仕組みづくりをお願いしたい
- 安全面を考えて、大人1対子ども1人ぐらいの人数で集団で預かってもらえるなら利用したい
- 子どもだけでなくシニア世代の方の安全も考慮した方がよいと思う。しかし自宅などでは防犯上のことも心配なので、学校や公民館のような場所で集団で預かってもらえるのがいいと思う
- 保育園などと同じような体制であればよい
- 1対1は避けてほしい。2～3人のシニア世代に3～4人の子どもなど相性と体力の問題があると思うので
- シニア世代の中に、保育士と一緒に同席させてほしい
- 地域のシニアの方でも預けるのは悪い。何があるか分からないので不安
- 個別に預かっていただくには不安があるので（どんな方なのかよく分からないまま預けることになるので）預ける側も団体でシニア世代の方も団体であれば利用を考えるとと思う
- 体力的に負担をかけるのではないか心配になるので、若い人も少しいた方が安心する
- 子どもの行動についていける体力を持っている方がいればお願いしたい

- 相手の方をよく知らないで預けられないので、地域のシニア世代の方と交流する場があって信用できるのであれば利用したい
- シニア世代の自宅、自分の自宅以外で預かってほしい（公民館や空き店舗改装など）プライバシー保護
- 何人かのシニア世代のかたが1グループで子どもも同じ人数ぐらいだったらよい
- 公民館など公共の施設で預かって貰えるなら安心感がある。個人のお宅などは預けにくい
- 物騒な世の中なので、行政が主体で、責任の所在が明らかなら利用したい
- 教師・保育士など経験者希望
- プロの方をお願いしたい。資格を持っていて、施設もふくふく館のような公設の施設だと安心（人の目、周りの目があってほしい）
- 犯罪が多い世の中なので、その危険から守ってほしい
- 分からない。介護福祉施設のニュース等ある中で、他人に任せるのは怖い
- 病院等でも預かってもらえる体制であれば利用したい
- 何でも口に入れてしまう歳なので安全で衛生面に気を付けていただき、言葉づかいを優しくとかキレイな言葉使いだと嬉しく思う
- 日本の文化について（シニア世代の子ども時代の話、郷土料理、遊び（昔の）など）指導や遊びを交えて子どもに命の大切さ、物を無駄に（粗末に）しないなどの教訓できる体制であればいいと思う
- 学童と合わさり勉強したり、遊ぶ際は昔の遊びを一緒に行ってほしい。特に土曜日
- 児童館のような施設で、こどもたちが遊びも楽しめるし、希望者に簡単な勉強を教えていただけるとありがたい。子どもが寂しい思いをせず、暖かい気持ちですくすく育っていつてくれたらと思う。地域ぐるみで温かく見守ってくださったら、本当に嬉しい
- 同じ年頃の孫がいるなど、子どもの特徴や行動を把握した方でないと安心して預けることはできないと思う。それより、地域全体でこどもたちへ関心を持ち、声を優しく掛ける、目を掛ける地域であることを願う。学童みたいな場所があちこちにあるといいと思う
- 保育園以外で他人に預けることは考えられない
- 私の場合義母が近いので義母に預ける
- 利用したいとは思わない
- 全くの他人に預けたくはない
- 申し訳ないが利用しない。保育園もしくは病児保育、両親等、見て貰うことがあるから
- どのような体制でも預けるというのは考えられない
- 子どもがたくさんいてお金がかかるから最初から預かって貰うことは考えていない

ファミリーサポートセンター（34）

- 安全な環境。自分の孫を預かっている感覚で接してほしい（できたら子育てを経験された方がよい）
- 安全で安心できるような人材や環境が整備されていれば、利用したい
- 万が一に備えた保障がしっかりしていること。家庭の中のことまで踏み込まない
- 災害が起こった時の行動として、そのシニアの方も助けられる人が近くにいるなど
- 預ける方の信頼がほしい
- 日常的に良く顔を合わせる機会があり、生活環境をそれなりに知っており、信頼関係を築いていないと預けられない
- 突然の事故やアナフィラキシーといったことなどに対する知識を身につけた上で預かってほしい
- 子どもを見てほしい。病後児（回復期）の保育をしてほしい
- 何時も同じ方に頼めると、子どもも慣れているので預けやすい

- 複数で対応してもらえること、個人情報を出さない（うわさ話など）
- 個人ではなく、ある程度子どもに何かあった時のためにも、グループで見ていただきたい。怪我や急な病気のときすぐ対応できる医療機関の確保や保険の充実
- 日頃おつき合いのない方に預けるのは難しいと思う。個人対個人ではなく行事などの託児等であれば、是非お願いしたい
- 自宅で預かってもらえるのであれば、中を見られるようにしてほしい。1対1の付き合いでなく、シニアの年齢にもよるが、どこかの支所、公民館等で数人で見てほしい
- 一人の方のみに負担を掛けたくないため、複数の形が安心
- 事前にしっかり打ち合わせができる。一時預かりの前に簡単でもよいから講習会のようなものを受けてくださると安心。同年代のお孫さんなどをお持ちで世話を時々されていると安心
- 公共機関での預かり
- ファミリーサポートのようなしっかりした体制であれば利用したい
- 子どもをファミリーサポートのように預かっていただけると助かる
- ファミリーサポートのような公的なシステムだと安心できる。高額だと困るが、無料だと心苦しいのでファミリーサポートの体制はありがたい。毎日の利用なので手続きも複雑でないものありがたい
- ファミサポのように30分300円とか決まっている方が割り切ってお願ひしやすい
- 今もファミリーサポートを利用している。今の体制でよいと思うが、金額が安くなってほしい
- 1対1でなく、少人数の子どもが遊ぶ集団の中で見守りや一緒に遊ぶなどの預かり方がよい
- 施設までの送迎と少しの時間の預かり
- 遊び相手、時間、場所が確保されていること
- 「近くに住む義父母と仲の良い人である」ことが大前提。お家に庭があるか近くに公園や空き地があるなど走り回れる場所がある、預けられる体制になるには信頼できる間柄であること、つまり日頃のあいさつや何度かあって話すことがまず必要（お互いに）
- 食事マナーや料理なども教わり、自分の躰、子育てにもアドバイスをもらえると嬉しい
- 利用することで、家庭に対する憶測やかわいそうなどという考え方を辞めてほしい。子どもがまたその人の所へ行きたいと思えるようなサービスとしてほしい
- 土・日も仕事なので、休日に近所のイベント等に連れて行ったり、参加に付き添ってほしい
- ご近所で預かっていただけるなら無理は言わない。私の住む地域ではそういう人がおられないので
- 1日預けて1500円だと助かる。お友達同士（2人までとかして）で預けることができるとなお助かる
- どちらかのお宅で、利用できれば望ましい
- 料金はできるだけ安く、信頼のできる人に。急な用事にも対応してもらいたい
- 下校してからの居場所として、帰宅させていただけると助かる。4年生になると学童もなくなるので心配。祖父母の手助けがあると嬉しいが、うちは孫に無関心で寂しい限り。そんな環境なので、シニア世代の方が一時預かりをされることは素晴らしいと思う
- 子育てからしばらく離れている方より、孫と一緒に暮らしている方の方が安心なので、そういう細かな情報があればいい

放課後児童クラブ（25）

- 送迎をしたり、宿題や遊びをする場を提供してほしい
- 学童のお迎えをしてほしい／学童のような感じ
- ファミリーサポートと同様の体制
- 仕事で遅くなる時、両親等に頼めない際、学童や保育園に迎えに行ってもらいたい
- 清潔な環境で、安全に、否定されずに、望みすぎですかね…

- 公共施設で複数人対応。土、日、祝日や夜間対応があると助かる
- 公の機関が関わっており、安全面やスタッフの教育ができている体制がよいと思う。きちんとした体制ができていると安心して預けられる
- 安心・安全が保障されていることが第一。その上でシニアならではの関わりがあると嬉しい
- 公民館などの広い施設で数人の子どもさんを集めて、数人のシニア世代の方が見守りをしてくださるような体制なら、シニアの方の負担も少ないのかなと思う
- 地域の公民館なども利用活用して、1対1ではなく、数人の方+子ども達で関わってほしい
- 数名でコミュニケーションをとりながら、他の親、子と一緒に遊びながら
- 学童から直接預かってもらえて、いろいろな体験ができればよいと思う。遊びも良いと思うが、勉強の基本、漢字の書き順、読み書きや計算などもシニア世代の方と触れ合う中で学んでくれたらと思う。習い事もなかなかないので。親子同士では、日々お互い忙しい中で教えたりすると喧嘩のようにつついになってしまうこともあるので…。余裕のある世代の方にご指導いただけると嬉しい
- 昔の遊びや食べ物、いろいろ子どもに教えてほしい。悪いことをした時はしっかり注意してほしい
- 学童のように、みんなで一緒にシニア世代の方々も一緒に遊び方(虫とりとか昔の遊び etc)を教えてもらえるような感じがいい
- 近くの集会所で、数人のシニア世代の方が、子どもの好きな時間に行って宿題なども見てくれると嬉しい。子どもも進んで宿題に向かうことができる気がする。
去年は小羽山小学校で放課後「わくわく教室」があり、娘は喜んで参加していた。今年度もあるが、三年生は「わくわく教室」に参加できず、ガッカリしていた。いろいろな世代の大人達が、井戸端会議をしている中に子ども達も加わり、楽しく過ごせると、縦の繋がりが横の繋がりにもなり、良い経験になるのではないかと思う。私は親と同居はしていないので、地域でつき合っていると、子どももお年寄りや自分より小さな子に思いやりが持てるようになると思う
- 温かい雰囲気、親の考え方を尊重してくれる、融通が多少大きく（お迎えが遅くなるのに対応して下さる）
- 知らない方に預けるのは今時不安なので、身元がしっかり分かるようになっていると利用しやすい
- シニア世代の方のみの一時預かりはいざというときに対応できるのか不安
- その方の自宅というより、どこかの公民館や集会場で預かるならいいと思う。その方の自宅で物がなくなった、こわれた等の問題が発生したら困るので…。専門的に学んだ方も一緒にのほうが利用しやすい
- いつでも連絡が取れるよう、ネット、ケータイを使えるようにしてほしい。安心して預けられるよう、その方の情報なども教えてもらえるといいと思う
- あまりプライバシーがもれもれになるのは避けたい
- 放課後児童クラブでスタッフの方と一緒に子どもたちと遊んでほしい
- フルタイムで働いているので、できれば朝から夕方まで見てくれる所だと利用できる
- 保育園等で働いたことがある方がいると安心
- 近所であれば利用したい／ご近所（家から近く、顔見知り）

❖ 自由記載まとめ

自由記載（P34～P37）を3つの視点で分類した

	保育所	ファミリーサポートセンター	放課後児童クラブ
体制・仕組み	<ul style="list-style-type: none"> ○急な時頼める体制（子どもの病気・仕事で遅くなる時等） ○土日、保育時間以外の対応 ○公民館など公的な施設で、団体による複数の方による対応 ○資格のある方など、経験者に依頼したい ○利用料が安価 	<ul style="list-style-type: none"> ○病後児（回復期）の保育対応 ○公民館など公的な施設で複数の方による対応 ○日頃からの交流や事前打ち合わせ等があれば安心 ○土日、休日などの対応 ○下校してからの居場所としての対応 ○ファミリーサポートセンターのような公的システムの対応 ○あまり高額でないこと ○依頼手続きが簡単であること 	<ul style="list-style-type: none"> ○学童（放課後児童クラブ）の送迎 ○公共施設で複数の方が対応。土日、祝日や夜間対応があると助かる ○異年代の子どもやシニアの方が交流できる場 ○顔見知りであるご近所の方が良い
安心・安全対応	<ul style="list-style-type: none"> ○安全な施設や環境 ○安心安全を管理する責任者の設置 ○保育知識のある経験者が含まれる ○シニアの方だけでなく、体力のある若い世代もいると安心 ○子どもの状況等常に連絡がとれる体制 ○子どもたち全員に目が行く届くこと ○人員の配置 ○プライバシーの保護 	<ul style="list-style-type: none"> ○安全な環境で信頼関係ができていないこと ○災害時や突然の事故対応ができる保障の確立 ○プライバシーの保護 ○事前にしっかり打ち合わせができる 	<ul style="list-style-type: none"> ○安全面でのスタッフ教育が必要 ○スタッフの身元が明確であること ○プライバシーの保護 ○安心安全が保障されていること ○温かい雰囲気 ○親の考え方を尊重してくれること
体験学習プログラム	<ul style="list-style-type: none"> ○衛生面や言葉づかいに配慮した対応 ○遊びを交えて昔の遊びやしつけ等を教えて欲しい ○地域ぐるみで温かく見守って欲しい 	<ul style="list-style-type: none"> ○食事のマナー、料理などを教わり、しつけや子育てのアドバイスが欲しい 	<ul style="list-style-type: none"> ○宿題や勉強、遊び・体験の場の提供 ○良いこと、悪いことの指導 ○昔遊びや食文化の伝承

シニアの取組に応援する意見	シニアに預ける体制に反対の意見
<ul style="list-style-type: none"> ○若い方の仕事と子育ての両立に向けた事業となるように祈る ○シニアの方には、体力的に負担をかけるのではと心配。子どもの体力についていけるのであればお願いします ○シニアの方が一時預かりをされることは素晴らしいと思う 	<ul style="list-style-type: none"> ○保育所、病児保育、両親等の応援体制がある ○子どもがたくさんいて、費用がかかる ○信頼関係のないところには預けられない。相手がわからないのに個別に預けるのは不安 ○地域の方でも何かあるかわからないので不安 ○利用することで家庭に対する憶測や可哀そうだという考え方はやめてほしい

❖ 調査票

※アンケートのご協力ありがとうございます。すべての質問にお答えください。

【最初に、あなたご自身のことごとらについてお尋ねします】

問 1 あなたの性別はどちらですか。

1. 男

2. 女

問 2 あなたは、現在おいくつですか。

1. 10歳代

2. 20歳代

3. 30歳代

4. 40歳代

5. 50歳代

問 3 あなたの職業はどれにあたりますか。(1つだけに○)

1. 会社員・会社役員

2. 公務員・団体職員

3. 自営業・農林漁業

4. パートタイマー・アルバイト・期間契約社員

5. その他 ()

問 4 あなたの同居家族(自分は除く)についてお尋ねします。

(あてはまるものすべてに○)

1. 就学前児童(0~6歳)

2. 小学生

3. 中学生・高校生

4. 18歳以上の若者

5. 配偶者

6. 祖父母

7. その他

問 5 あなたはご近所の人と、どの程度お付き合いをされていますか。(1つだけに○)

1. 留守にする時には、用が頼める

2. あいさつだけでなく、日常生活や地域の行事には交流している

3. 顔をあわせれば、あいさつくらいはする

4. 顔は知っているが、声をかけたことはほとんどない

5. ほとんど顔も知らない

【あなたの子育てについてお尋ねします】

問 6 あなたのお子さんほどの施設に預けておられますか。また、利用されていますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 保育園

2. ファミリーサポートセンター

3. 学童保育

問 7 あなたが子育てをしていく上で、悩みや不安はどうやって解決していますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 配偶者に相談する

6. 職場で相談する

2. 両親や親族に相談する

7. インターネットや本を参考に

3. 利用している保育施設の職員に相談する

する

4. 知人や友人に相談する

8. 相談相手はいない

5. 公共や民間の相談所を利用する

9. その他 ()

問 8 あなたのお子さんが病気やけがで休む時、どのように対応されましたか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 仕事を休んだ

4. 病児、病後児の施設を利用した

2. 両親や兄弟姉妹などの親族に

5. ファミリーサポートセンターを

頼んだ

利用した

3. 配偶者に頼んだ

6. その他 ()

問 9 あなたの子育ての負担感について、どのように思われますか。以下の①～⑤についてお尋ねします。(それぞれについて○は1つ)

質 問	よくそう思う	ややそう思う	そう思わない
①仕事との両立で心身ともに疲れる	1	2	3
②配偶者が子育てに非協力的	1	2	3
③子育てについて相談する相手がいない	1	2	3
④祖父母や親族の口出しが多い	1	2	3
⑤親同士の付き合いや人間関係が煩わしい	1	2	3

【地域の子育て支援についてお尋ねします】

問 10 あなたは地域の行事に親子で参加しておられますか。以下の①～④についてお尋ねします。(それぞれについて○は1つ)

質 問	よく参加する	時々参加する	全く参加しない
①子育てサロンやサークルに参加する	1	2	3
②地域の子育ての講座・交流会に参加する	1	2	3
③地域のまつりに参加する	1	2	3
④地域の行事（一般の方と一緒に）に参加する	1	2	3

問 11 地域のシニア世代が子育てに関わり応援するとしたらどのような活動、サービスを希望しますか。あなたのお気持ちをお聞かせください。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1. 地域の方との交流の場がほしい | 5. 挨拶等、いつも温かく声をかけてほしい |
| 2. 自然体験、伝承遊びの機会がほしい | 6. 子育ての相談にのってほしい |
| 3. 子どもの登下校の見守りをしてほしい | 7. 地域の方にはあまり関心がない |
| 4. 一時預かりが頼める応援をしてほしい | 8. その他 () |

問 12 その時、地域のシニア世代に配慮してほしいことはありますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1. 安全には充分留意して関わってほしい | 6. 過保護にならないように関わってほしい |
| 2. 自身の価値観を押し付けないでほしい | 7. その他 () |
| 3. いいところはしっかりと褒めてほしい | |
| 4. 他の子どもと比較しないでほしい | |
| 5. どの子にも同じように接してほしい | |

問 13 例えば地域のシニア世代がお子さんの一時預かりをするとして、どのような体制であれば利用したいですか。ご自由にご記入ください。

以上で質問はすべて終わりです。ご協力ありがとうございました。

